

～高丸山の森づくり情報～



遊学の森便り

第187号
230106

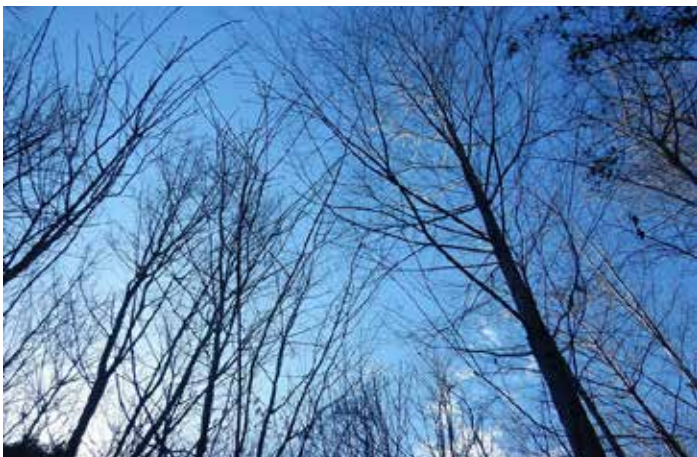
12月の遊学の森の様子



12月の高丸山は、葉っぱをすっかり落とし、本格的な冬ごもりの様子です。



下旬には早くも雪が降りました。ブナ林では人間以外に、いろんな動物の足跡がありました。



遊学の森で空を見上げると、澄んだ空と、木々の枝がまぶしいです。冬だから見られる森の様子です。



冬でも緑なのが、ツガやモミです。よく凍って、葉っぱを落とさないものだと毎年感心します。



冬の野鳥のごちそう。スイカズラの実がたくさんなっていました。



こちらはツルウメモドキ。オレンジのさやと、赤い実がよく目立ちます。

■森づくり作業・管理レポート

●みんなの森づくり日記 12月1日～12月27日

活動内容	活動日	被害箇所	活動団体	作業内容
獣害被害 防除ネット 修復	12月 1日 13日	6カ所 8カ所	かみかつ 里山倶楽部 事務局	森づくり区画の外周に張っている、獣害被害防止ネットの補修状況です。 今月は、ネットを噛み切って、穴をあける被害が多かったです。これからは雪の降る季節です。同様の被害が増加するのではないかと考えています。新しい年になっても、彼らに負けないように、見回りを行っていきます。

■トピックス

●「広葉樹を増やそう」報告

遊学の森で大きく成長している木々は、高丸山および、その周辺の山で採取した種で苗木をつくり、平成16年度から3年間をかけて植樹しました。その際、苗木を育てるために使われたのが「マルチキャビティコンテナ」という育苗コンテナでした。現在は、苗木を育てるのに当たり前のように使われていますが、当時は最新式の取り組みでした。

今回の行事は、そのコンテナを使って、広葉樹のタネを植えてみようというものです。今回はウバメガシやトチのドングリのよりに大きく、分かりやすいものから、カツラやナツツバキといった、小さなものまで、多種多様なタネを観察し、植えてみました。さあ、来年の春、芽吹きはどうなるのか楽しみです。



まずは広葉樹の森について学びます。森を作る樹木はどんな種類でしょうか



今度はタネ観察。タネと思えない形やケシ粒以下サイズなど、驚きの連続です



午後から、マルチキャビティコンテナに土とミズゴケを入れていきます



これはウバメガシ。すでに芽（？根っこかな）が出ています。早く植えないと！



小さな実からタネを取り出そうと格闘中。なかなか難しい



タネを植えて、名札をつけて完成。来年の春が楽しみです

●高丸山の道路情報など

2022年12月に雪が降り、そのあと暖かい日が続いたため、1月5日現在、県道16号はほぼ凍結がなくなっています。①しかし、高丸山の町道は、一部路面凍結が残っています。日中の暖かさと夜間の低温で、路面はツルツルです。4WDで冬用タイヤを装着していても、ハンドルが取られてしまうことがあります。運転が不慣れな方は、凍結がなくなるまで、待機してください。

②高丸山のエコトイレですが、冬季は凍結防止のため、水利を止めています。そのため利用不可になっています。冬季、高丸山で活動される方は、登山口近くの町営トイレをご利用ください。なお手洗い水はありませんので、ご準備ください。



①高丸山の町道は凍結路面があります。県道とは状況が違います



②高丸山のエコトイレは、凍結防止のため冬季は閉鎖しています

千年の森ふれあい館（指定管理者：一般社団法人かみかつ里山倶楽部）

〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL：0885-44-6680 E-mail：sennennomori@@kkcatv.jp

※本便りは、千年の森 HP にフルカラーでアップ中です。http://www.1000nen.biz-awa.jp